



出猟カレンダー調査へのご協力をお願い

出猟カレンダーは、銃猟をされる方のみに提出していただきます。

※ 捕獲がある場合は、狩猟者登録証への記載も必要です。(狩猟者登録証と出猟カレンダーの両方に記載)

なお、記入した出猟カレンダーは、狩猟者登録証返納の際に一緒に提出してください。

「出猟カレンダー調査」の目的

出猟カレンダーのデータをもとに、「シカがどこに、どれくらい生息しているのか」、「今後の生息数は増えるのか、減るのか」等、シカの生息状況を分析します。

現在、山口県ではシカによる農林業被害等が深刻化しています。

この分析結果は、シカをより適切に管理していくための計画や施策を考える上で、とても重要な資料として活用されます。

なお、集計結果は県のホームページ等で皆様にご提供いたします。



※ 狩猟者登録証の裏面に記載する報告だけではなぜダメなの？

狩猟者登録証の裏面の報告で、「捕獲数」は把握できますが、より精度の高い推計を行うためには、「何回猟に出て、何頭のシカに出会ったか」という情報が必要になります。つまり、「シカを目撃する確率(目撃効率)」です。目撃効率が高い地域では、シカの生息数も多いことになります。

(そのため、「出猟したが、シカに1頭も出会わなかった」という情報も大切な情報になります。)

この「目撃効率」がシカの生息状況の推計をする上で、欠かせないデータとなります。